

# 平成26年度 警察庁調達改善計画年度末自己評価(要約版)

平成27年6月18日

## 1 重点的に取り組む分野

取組内容	自己評価
<p>(1)警察装備に関する調達</p> <p>(ア) 一者でも多くの業者が参入できるように仕様の見直しを積極的に行う。</p> <p>(イ) 新規業者の参入を促進するため、可能な限り公示期間や納入期限を長くする。</p>	<p>船舶及び銃器の契約において納期の延伸、仕様の見直し等を実施した結果、応札者が増え経費の節減が図られた。</p>
<p>(2)警察通信に関する調達</p> <p>(ア) 一者でも多くの業者が参入できるように仕様の見直しを積極的に行う。</p> <p>(イ) 新規業者の参入を促進するため、可能な限り公示期間や納入期限を長くする。</p> <p>(ウ) 意見招請手続きは、最新の技術を得る方策として、競争性を高める上でも一者応札の防止においても有効な方策であり積極的に活用する。</p> <p>(エ) 総合評価落札方式は、技術的に優れた製品を調達するために有効な方式であり積極的に活用する。</p>	<p>仕様の見直し、公示期間・納期の延伸、意見招請を実施した結果、1者応札の割合が平成25年度と比較して3.5ポイント縮減した。</p> <p>本庁調達では17件(95億円)、地方調達では9件(15億円)について総合評価方式による一般競争入札を実施した。</p>

## 2 継続的な取組

<p>(1)随意契約の見直し</p> <p>(イ) 入札不参加者に対し、アンケートを実施し、対応可能な要望について積極的に採用する。</p> <p>(2)汎用的な物品、役務の見直し</p> <p>(ア) 共同調達の推進</p> <p>(3)DNA試薬の調達の見直し</p> <p>(イ) 管区単位での共同調達を実施する。</p> <p>(4)その他</p> <p>(ア) 旅費について、パック商品の利用を促進するとともに、旅行代理店へのアウトソーシングについても引き続き活用する。</p>	<p>アンケート結果を踏まえ、公告期間を延伸した結果、平成25年度と比較して、アンケート結果の一部に改善が見られた。</p> <p>事務用消耗品について共同調達を推進した結果、平成25年度と比較して1.2%の経費削減効果があった。</p> <p>近畿管区内で共同調達を実施した結果、平成25年度と比較して、3.2%経費削減効果があった。</p> <p>6,634件の出張案件についてパック商品及び経済的な乗車券や宿泊場所等の手配を無償で請け負っており、旅費事務の効率化及び旅費の節減につながった。</p>
--	--

## 外部有識者からの意見聴取の実施状況

会議等名称:警察庁会計業務検討会議を構成する外部有識者  
開催日時:平成27年 5月29日(金)～ 6月 3日(水)

外部有識者からの意見	意見に対する対応
通信関係について、当初整備した事業者がその後のメンテナンス契約等も随意契約してしまうのはいかなものか。	ご意見を踏まえ、当初整備の契約の際、費用対効果を踏まえた検討を行った上で、仕様書に排他的技術仕様の排除を明記することにより、他の事業者でも契約が可能になるよう改善に向け努力する。
印刷物の契約について、他省庁においても同様の問題を抱えているのではないか。	ご意見を踏まえ、他省庁に調査を行うなど、引き続き調達の改善に向け努力する。
随意契約が減ってきていることは評価できる。	ご意見を踏まえ、引き続き随意契約から一般競争入札への移行など、競争性の確保に努める。